

スポーツツーリズムの推進について

政策地域部政策推進室

1 スポーツツーリズムの推進に関する考え方（参考1）

- スポーツの振興は、健康増進や体力・運動能力の向上にとどまらず、地域コミュニティの形成や地域の連帯感の向上、観光等による経済的効果の創出など、地域活性化の可能性を大きく広げるものとする。
- このような観点から、第3期アクションプランにおいては、「スポーツの振興による地域活性化の促進」を新たに盛り込み、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催後には、ラグビーワールドカップ2019（以下「ラグビーW杯」という。）や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等（以下、「東京2020大会」という。）を控え、大規模スポーツイベントの県内開催準備や、市町村・競技団体等と連携した合宿誘致等に集中して取り組むとともに、本県を本拠地とするプロスポーツチームと連携した取組の具体化を図るなど、本県ならではのスポーツツーリズムの推進につなげていく。

2 東京2020大会、ラグビーW杯等大規模スポーツイベント開催に向けた取組状況と課題

(1) 東京2020大会に向けた取組の推進

ア アクション&レガシープランの策定・推進

- ・ 東京2020組織委員会では、大会開催基本計画に基づく大会レガシーを残すためのアクションを推進
- ・ 取組の柱の一つとして、「復興・オールジャパン・世界への発信」があり、同組織委員会、政府、東京都、被災3県による被災地復興支援連絡協議会を通じ、東日本大震災の被災地の支援等を検討
- ・ 本年4月に、被災地復興支援連絡協議会事務局から、アクション&レガシープランにおける被災地復興支援事業の事務局案が提示される見込み

⇒ 提示された事業案を踏まえて、本県における今後の取組の具体化を検討

（以下は、上記基本計画より、アクション&レガシーの「復興」部分を抜粋したもの）

○ 東日本大震災の被災地への支援や復興状況の世界への発信

（アクションの例）

- ① 政府、東京都、被災3県による復興支援連絡協議会を通じた連携
- ② 被災地における聖火リレー等を通じた被災地への支援
- ③ 文化プログラム、教育プログラムによる復興状況の世界への発信

イ オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等誘致活動

① 東京2020組織委員会が作成する事前トレーニング候補地ガイドへの掲載

- ・ 現在、東京2020組織委員会では、各国・各地域向けに、キャンプ地を紹介するためのガイドを作成中
- ・ リオ五輪の開催に合わせ、2016年8月からホームページによる情報提供を開始予定
- ・ 掲載する練習施設は各競技の国際競技連盟の技術要件に適合する必要がある

⇒ 現在、掲載に向けて市町村に働きかけ中

② 全国知事会の取組との連携

- ・ 全国知事会では、自治体による国内外からの合宿誘致の促進を図るため、「スポーツ施設データベース」を構築
- ・ 登録を希望する市町村は、県を經由して登録

⇒ 現在、県及び県内12市町の50のスポーツ施設、44の宿泊施設が公開中

○ 県内市町村の東京 2020 大会事前キャンプ誘致の意向（参考 2）

事前キャンプの誘致について「取組予定」もしくは「今後検討」としている市町村は 16（政策推進室調べ（1 月 15 日時点））

ウ ホストタウン登録

- ・ 国では、全国の自治体と東京 2020 大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図り、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、「ホストタウン構想」を推進
- ・ ホストタウン登録希望市町村は、次の①～③すべてと住民等との間で交流等を行う計画を提出
 - ① 大会等に参加するために来日する選手等
 - ② 大会参加国・地域の関係者
 - ③ 日本人オリンピック・パラリンピアン
- ・ 関係府省庁は、各種財政措置（特別交付税などの地方財政措置を含む）、人材の派遣、情報提供などを通じ、ホストタウンの取組を支援

⇒ 現在、登録に向けて市町村に働きかけ中

エ 機運醸成

- ・ 東京 2020 大会の開催に向けた機運醸成のため、アのアクション&レガシープランとの連動を図りながら、東京 2020 組織委員会、東京都と連携した取組を推進予定

(2) ラグビーW杯開催準備の推進

ア スタジアム整備

- ・ 釜石市において、釜石鶴住居復興スタジアム（仮称）の整備に着手

イ 大会運営・準備

- ・ 開催準備の本格的な推進に向けた、輸送・宿泊等の全県的な準備体制を検討中

ウ チームキャンプの誘致

- ・ 本年春から夏頃にチームキャンプ地選定プロセス概要が発表され、夏頃からチームキャンプ地選定プロセスが開始される予定であること

エ 機運醸成・プロモーション

- ・ 全県及び釜石市において、機運醸成イベント等を実施。今後本格化

3 今後の県の取組の方向

2 に掲げた状況を踏まえ、今後、県としては次の取組の具体化を検討していく。

(1) 東京 2020 大会に向けた取組の推進

- ア 東京 2020 組織委員会によるアクション&レガシープランの取組への参画
 - ・ 東京都と連携した「被災地の姿を世界に向けて発信」するための映像制作（3 月）
 - ・ リオ五輪におけるパブリックビューイングの実施（8 月）
- イ 市町村と連携した事前キャンプの県内誘致に向けた紹介パンフレットの制作（3 月）

(2) ラグビーW杯開催準備の推進

- ア 県内市町村や関係機関・団体等による開催準備委員会（仮称）の設置・検討
- イ 市町村と連携したチームキャンプ地誘致に向けた取組の推進
- ウ ラグビーW杯組織委員会等と連携した開催機運醸成イベントの実施等

(3) 市町村との連携体制の構築

- ア 内閣官房、東京都等と連携した市町村への取組支援（情報提供、助言等）
- イ 市町村担当課長会議等（スポーツツーリズム推進連絡会議）を通じた県・市町村・スポーツ団体等による取組実績の共有、蓄積。次段階の取組協議等 → 今後、積み重ねを図る。

豊かなスポーツライフの振興

1 みんなで目指す姿

幼児から高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境が整い、スポーツを楽しみ、またスポーツを支える活動に参画する機会が増えることにより、誰もが心豊かで活力のある健康的な生活を送っています。

また、第 71 回国民体育大会・第 16 回全国障害者スポーツ大会の本県開催を契機に高まった競技力と県民のスポーツに対する関心がさらに高まり、ラグビーワールドカップ 2019 の本県開催や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた取組が活発に行われて

現状

- スポーツの振興は、健康の増進や体力・運動能力の向上にとどまらず、地域コミュニティの形成や地域の連帯感の向上、観光等による経済的効果の創出など、地域活性化の可能性を大きく広げます。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、本県では 2016 年に第 71 回国民体育大会・第 16 回全国障害者スポーツ大会が開催されるとともに、ラグビーワールドカップ 2019 の釜石市開催が決定しました。これらの大規模スポーツイベントの取組を契機に、国内外との交流人口の更なる拡大を図ることが必要です。
- スポーツの振興を通じた地域の活性化が重要と考えられる中で、近年、地域密着型で運営するプロスポーツが注目されるようになり、本県においてもサッカー、バスケットボール等のプロチームの活躍には、ファン（サポーター・ブースター）をはじめ多くの県民の期待と関心が高まっています。地元プロスポーツチーム・市町村等と連携し、トップスポーツと地域におけるスポーツの好循環の形成、経済的効果の拡大や県民の連帯感の醸成等を図っていくことが必要です。

2 目指す姿を実現するための取組

主な取組内容

⑤ スポーツの振興による地域活性化の促進 ☆ ◆

- ・ 第 71 回国民体育大会・第 16 回全国障害者スポーツ大会を確実に成功させるとともに、その成果を生かし、開催地である釜石市をはじめ、市町村・関係団体等と連携し、ラグビーワールドカップ 2019 の開催準備に取り組みます。
- ・ 市町村・スポーツ団体等と連携し、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際的スポーツ大会の事前合宿誘致をはじめ、関連イベントの実施、岩手県スポーツツーリズム推進連絡会議を通じたスポーツツーリズムの取組を推進し、交流人口の拡大に取り組みます。
- ・ 岩手県を本拠地として活躍するプロスポーツチームの活躍は、県民に夢や楽しみ、感動を与え、明るく豊かで活力ある社会生活の形成に資するため、チームや企業等と連携した PR 活動等の支援を通じ、県民の一体感や応援機運の醸成を図るとともに、観戦や応援イベント等による交流人口の拡大を通じた地域活性化の取組を促進します。

【参考2】県内市町村の東京 2020 大会事前キャンプ誘致の意向

1 事前合宿の誘致意向のある市町村

区 分	市町村
取組予定	花巻市、北上市、久慈市、雫石町、紫波町
今後取組を検討	盛岡市、宮古市、一関市、釜石市、八幡平市、奥州市、滝沢市、葛巻町、岩手町、洋野町、一戸町

2 競技別の誘致意向

【誘致意向凡例】 ○: 既に取り組 □: 取組予定 △: 今後検討

市町村	競 技 (合計21競技)																				
	アーチェリー	陸上競技	水泳	バスケットボール	フェンシング	サッカー	新体操	ハンドボール	ホッケー	柔道	ボート	ラグビー	セーリング	クレール射撃	卓球	テニス	バレーボール	ウエイトリフティング	レスリング	野球	ソフトボール
盛岡市			△	△		△															
宮古市				△									△				△		△		
花巻市								△			□			△							
北上市		□					□					□									
久慈市										□											
一関市				△	△												△				△
釜石市												△									
八幡平市												△									
奥州市				△											△			△			
滝沢市						△						△									
雫石町	□	△		△		△															
葛巻町				△		△														△	
岩手町									△												
紫波町																	□				
洋野町																				△	
一戸町		△														△				△	
誘致意向計 (種目別)	すでに取組																				
	取組を予定	1	1				1			1	1	1					1				
今後検討																					
		2	1	6	1	4		1	1			3	1	1	1	1	2	1	1	3	1
合計16市町		1	3	1	6	1	4	1	1	1	1	4	1	1	1	1	3	1	1	3	1

- ◆事前キャンプの誘致「取組予定」もしくは「今後検討」と回答した市町村数は 16（取組予定5、今後検討 11）
- ◆対象競技数は合計 21